

市民と議会を結ぶ広報紙

あさひ議会だより

28号
平成25年
3月1日
発行

飯岡診療所
旭こころとくらしの
ケアセンター

おもな内容

議案の内容と審査結果	2・3
主な議案質疑	3
第4回定例会の日程	3
陳情の審査結果	3
一般質問	4~8
常任委員会の審査	9
行政視察報告	10・11
議長のうごき	12

休日も診療

日曜・祝日も内科、小児科の診療が行われている旭中央病院附属飯岡診療所

補正予算、条例の制定など

6 議案を可決・承認

第4回定例会のあらまし

平成24年第4回定例会が、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開かれました。この定例会には、平成24年度一般会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算、病院事業会計補正予算、条例の制定など6議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・承認されました。12月6・7日には、一般質問が行われ、8人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。最終日の17日には、議員から1件の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。

議案の内容と審査結果

補正予算

(平成24年度)

■議案第1号

平成24年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出にそれぞれ3億300万円を追加し、予算の総額を292億8,900万円とするものです。

歳入の主な内容は、国庫支出金を9,772万1,000円、繰入金を1,013万5,000

円、繰越金を7,094万8,000円、市債を1億1,810万円増額するものです。

歳出の主な内容は、障害児通所支援事業747万8,000円など民生費に2,206万6,000円、災害廃棄物処理事業

9,628万2,000円など衛生費に9,787万4,000円、小学校大規模改造事業1億

3,280万4,000円など教育費に1億7,273万1,000円増額するものです。

■議案第2号

平成24年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について (可決)

施設勘定の歳入歳出にそれぞれ700万円を追加し、予算の総額を6,100万円とするものです。

歳入の主な内容は、診療収入を368万9,000円、繰越金を331万1,000円増額するものです。

歳出の主な内容は、医師の賃金を300万円減額し、医薬材料費を980万円増額するものです。

■議案第3号

平成24年度旭市病院事業会計補正予算の議決について (可決)

収益的支出の病院事業費用を1億9,179万6,000円減額し、356億9,767万3,000円とするものです。

専決処分

■議案第6号

専決処分の承認について(平成

24年度旭市一般会計補正予算) (承認)

歳入歳出にそれぞれ3,300万円を追加し、予算の総額を289億8,600万円とするものです。

この補正は、衆議院が解散されたことから、必要となる選挙執行経費について平成24年11月19日に専決処分したものです。

なお、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費は、県からの委託により執行するも



ので、歳入については全額、県
支出金を予定するものです。

条例の制定

■議案第4号

旭市私債権等管理条例の制定に
ついて (可決)

鳴田 哲純議員 逝去



平成25年2月9日、鳴田哲
純議員が逝去されました。

故人は、平成15年に旧海上
町議会議員選挙に初当選し、
1市3町合併後は副議長、建
設経済常任委員長などの要職
を務められました。この間、
町政並びに市政発展のため
ご尽力されました。

謹んで哀悼の意を表し、心
からご冥福をお祈りいたしま
す。

市が保有する金銭債権のうち、
民法等の法律の適用を受ける、
学校給食費・放課後児童健全育
成事業受託料・市営住宅家賃・
水道料金・農業集落排水事業使
用料・病院診療費などの適正な
管理を進めるため、必要な事項
を定めるものです。

その他の議案

■議案第5号

千葉県市町村総合事務組合規約
の一部を改正する規約の制定に
関する協議について (同意)

千葉県市町村総合事務組合の
組織団体である大網白里町が平
成25年1月1日から市制を施行
し、大網白里市になることから、
共同処理する団体に関する規定
を改正するにあたり、あらかじ
め関係地方公共団体の議会の議
決を求めるものです。

議員提出議案

■発議第1号

専決処分事項の指定について

(可決)

地方自治法第180条第1項

の規定により、市長において専
決処分することができるとする
事項を

主な議案質疑

■議案第1号

平成24年度旭市一般会計補正予
算の議決について

Q 保健衛生総務事務費、休日
救急診療委託料の具体的な
内容についてお尋ねします。

A 市民の休日における初期の
急病者を対象として、旭中
央病院に委託し診療を行うもの
です。実施場所は、旭中央病院
附属飯岡診療所で、日曜日、祝
日、年末年始に診療を予定して
います。

診療時間は、午前9時から午
後5時まで、診療科目は内科を
予定しています。

実施体制は、旭市医師会より

議会が指定するものです。

医師1名の派遣を受け、看護師、
事務員、各1名を旭中央病院職
員で行います。

委託金額は、1日当たり7万
5,000円です。



旭中央病院附属飯岡診療所

陳情の審査結果

第4回定例会では、陳情1件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
陳情第4号	生活保護基準引き下げはしないことなどを 国に意見書提出を求める陳情	不採択

第4回定例会の日程

11月30日(金) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明

12月5日(水)

- 議案の質疑
- 常任委員会へ議案・陳情を付託

12月6日(木)

- 市政に関する一般質問

12月7日(金)

- 市政に関する一般質問

12月11日(火)

- 建設経済常任委員会

12月12日(水)

- 文教福祉常任委員会

12月13日(木)

- 総務常任委員会

12月17日(月)

- 常任委員長の議案・陳情報告
<質疑・討論・採決>

◇追加日程

- 発議案の上程
- 提案理由の説明
<質疑・討論・採決>

- 事務報告

(閉会)

一般質問

市政に関する一般質問は12月6・7日の2日間行われ、8人の議員が登壇しました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

被災者支援

災害公営住宅の進捗状況は

(飯嶋正利議員)

Q 災害公営住宅について、詳しく説明願いたい。

A 災害公営住宅は、10月に復興庁へ復興交付金の申請をし、11月に配分額を認める通知がありました。

応急仮設住宅の入居期限である平成26年5月の退居に間に合うように、平成26年3月末の完成を目指しています。1DKが15戸、2DKが15戸、3DKが3戸の計33戸です。



飯岡地区の仮設住宅南側の災害公営住宅建設予定地

仮設住宅入居者への支援を

(伊藤房代議員)

Q 仮設住宅の入居者に対して電気こたつが配布されたと聞いています。しかし、こたつだけでは不十分なため、石油ストーブなどの配布も考えてはどうか。

A 石油ストーブ等については、火災の危険や一酸化炭素中毒などが懸念されるとともに、結露による健康悪化なども心配されます。現時点において、石油ストーブ等の配布は考えていません。

支援策の広報の充実を

(大塚祐司議員)

Q 旭市では敷地被害解体についての広報が不十分であり、本来、救済されるべき被災者が、国の被災者支援制度を知らない可能性があります。市では広報をどのように行っているのか。

A 該当者をおおむね2000世帯と把握していますの



飯岡地区の仮設住宅

で、ホームページや広報にも載せ、個別通知も併せて行っていくしたいと思います。この国の制度は二本立てになっており、基礎支援分と直した状態によってみなす加算分となっており、基礎支援分が平成25年4月に期限となりますので、併せてしっかりと広報していきたいと考えています。

中小企業への支援を

(飯嶋正利議員)

Q 中小企業に対する支援である中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業(グループ補助金)について昨年から状況等は。

A この事業は、被災地域の中小企業等で構成されるグループが、復興事業計画を作成し、県から認定を受けた場

一般質問の質問事項
発言議員と質問事項を紹介いたします。



大塚 祐司
議員

- 1 教諭補助員について
- 2 子育て支援について
- 3 ごみ処理について
- 4 畜産の臭い対策
- 5 旭の子どもを医学部へ通学路の安全確保
- 6 東日本大震災において一部損壊で「敷地被害解体」の被災者支援
- 7



高橋 利彦
議員

- 1 税金の無駄遣いと行財政改革について
- 2 全国学力・学習状況調査について
- 3 食彩の宿いおか荘について
- 4 広域ごみ処理場建設について
- 5 中央病院について

合に施設の復旧整備に対して、国・県から事業費の補助を受けるものです。

平成23年11月に千葉県も対象地域に入り、旭市の15の事業者を含む銚子市から九十九里町までの水産加工グループが認定を受けました。また、平成24年5月、旭市の53の事業者を含む九十九里地域の観光関連グループが事業認定を受けました。

私道に対する支援は

(太田将範議員)

Q 震災による液状化で私道も被害を受けたと聞いています。市として、どのような対応をとっていくのか。

A 東日本大震災により被災した私道の早期復旧を目的に、東日本大震災による被災私道復旧事業補助金交付要綱を平成23年5月に制定しました。本要綱は、震災以前からある旭市私道整備助成事業補助金交付要綱を基に、期限を平成26年3月31日と定めて、運用しやすいうように要件や補助率、補助限度額等を緩和した内容となっております。予算額も別枠として措置しています。

被災した数多くの私道において本要綱を適用して復旧している実績もあり、本要綱を利用して道路整備をしていただきたいと考えています。

防災

津波避難道路の説明を

(飯嶋正利議員)

Q 飯岡地区、矢指・富浦地区等の海岸地域において、避難経路等の説明会がありました。その内容について詳しく説明願いたい。

A 沿岸部の各地区から陸地側へ向けた道路として、幅員の広い道路から狭い道路まで二十数本の路線があります。災害時の避難路の確保や日常生活の安心・安全の確保を目的として、安全な交通路の整備に取り組み必要があります。道路を拡幅するには、用地買収、物件保証等が伴い、路線によっては移転をしなければならない場合も想定されます。そのため、津波避難道路については、家屋の補償や用地賠償

による住民の負担を考慮しながら路線を選定し、復興まちづくり計画の中で策定していきたいと思えます。

残土を築山に使えないか

(島田和雄議員)

Q 千葉県が整備を進めている東総広域農道清滝バイパスは低地から台地上る避難用の道路になることも考えられ、復興関係の予算をプラスして、早期の着工ができないか。

A また、トンネル工事が実施されると発生する残土は、4万4,000立方メートルが見込まれます。この残土を津波避難用の築山の建設に利用できないか伺います。
平成24年1月に作成した旭市復興計画に係る協議において、避難道路として交付金は無理であるという結論に達しました。
また、トンネル工事から出る土は県の事業に使いたいということでも築山の建設には使えません。市で行う公共事業で出る土を利用しながら、復興まちづくり計画に載せていきたいと思っ

ています。

広域ごみ処理

焼却炉の選定はどうなっているのか

(太田将範議員)

Q 広域ごみ処理施設の焼却炉の検討が進んでいるが、検討委員会の中でどのような議論がされているのか。

A 焼却炉の方式はさまざまな種類があり、大きく分けて3つの方式で検討しています。東総地区広域ごみ焼却施設建設計画検討委員会の諮問事項でもあり、安全面、経済面、技術面など慎重に検討を加え、議論しており、結果が出しだい、ご報告します。

中継施設の検討は

(滑川公英議員)

Q 現在、広域ごみ処理施設は銚子市に建設することが計画されています。その中でゴミの中継施設はどのようになっているのか。



滑川 公英
議員

- 1 昨年までと変わった3つの産業まつりについて
- 2 長熊釣堀センターの指定管理者制度の内容について
- 3 ごみの広域焼却場について



飯嶋 正利
議員

- 1 災害復興について
- 2 防災対策について
- 3 市民体育祭について



伊藤 保
議員

- 1 緊急通報システムについて
- 2 統合保育所について
- 3 食彩の宿いおか荘について
- 4 市営プールについて

A 東総地区広域ごみ焼却施設建設検討委員会の中で、一致した意見が見られないため、今後、施設の必要性の有無も含め、構成市間で地域住民等への配慮と併せ、十分な検討を行うと思います。

教育

教諭補助員の今後の配置は

(大塚祐司議員)

Q 教諭補助員は、学力の向上を図るために学級担任を補助し、きめ細やかな指導を行う役割を有しています。現在の配置人数と現場からどのような意見・要望が寄せられているのか。また、今後の配置計画についてお聞きます。

A 現在、教諭補助員を小学校13校、中学校4校に各1名を配置しています。また別に小学校には英語指導の補助員3名を、分担で市内全校に赴き、英語指導を行っています。

現場の意見は、一人でも多くの補助員を配置していただき、障害等を持つ児童・生徒への学

習を支援するとともに、学級全体の落ち着いた学習環境を構築し、児童・生徒の健全育成並びに学力の向上を目指したいとのことです。

なお、平成25年度からは市内小・中学校全校配置となります。

インターネットを活用した授業を

(伊藤房代議員)

Q 携帯電話のゲーム等に夢中になっていく子どもたちに対して、インターネットを常識的に使いこなせるように授業ができないか。

A インターネットを使っての検索の仕方を学ぶ授業、公共機関・各企業等のホー



三川小学校でのパソコンを使っの授業

A 本市に住所を有する65歳以上のひとり暮らし高齢者等が対象で、別世帯でも同一敷地内に生活している場合などは対象外です。

なお、通報者が応答できない場合や応答で状況がよく確認できない場合など、万が一のときに駆けつけていただくために、近所の親族、友人、知人の方などの協力員3名の登録をお願いしています。

福祉

緊急通報装置の設置条件は

(伊藤保議員)

Q ひとり暮らしの高齢者世帯からの要望があれば設置可能な緊急通報システムの取り付け条件について伺います。

A 本市に住所を有する65歳以上のひとり暮らし高齢者等が対象で、別世帯でも同一敷地内に生活している場合などは対象外です。

なお、通報者が応答できない場合や応答で状況がよく確認できない場合など、万が一のときに駆けつけていただくために、近所の親族、友人、知人の方などの協力員3名の登録をお願いしています。

今後の子育て行政は

(太田将範議員)

Q 今後の子育て新システムについて説明願いたい。

A 子ども・子育て新システムは、平成25年4月に設置される子ども・子育て会議で検討された内容を基に、出産前から小学校入学後までも支援する制度です。所管する課が複数にまたがるので、遺漏のないように準備を進めたいと考えています。

また、旭市子ども・子育て支援計画を策定することになるため、市民、保育所、幼稚園等の関係者の声に対しても耳を傾け、きめ細かな計画を考えています。

飯岡地域統合保育所の詳細を

(伊藤保議員)

Q 飯岡中央保育所と三川保育所を統合して飯岡支所の敷地内に建設する飯岡地域統合保育所の規模と収容人数について伺います。

A 飯岡支所敷地内東側へ、敷地面積、約2,500平方メートル、構造は鉄筋コン



島田 和雄
議員

- 1 東総広域農道トンネル工事の早期完成とその残土を避難用の築山に使えないか
- 2 水田施策について
- 3 海上地区の排水対策について



伊藤 房代
議員

- 1 児童福祉について
- 2 旭駅のバリアフリー化について
- 3 高齢者福祉について
- 4 復興支援について



太田 将範
議員

- 1 東日本大震災被害の救済施策の説明を求める
- 2 子ども・子育て関連法(新システム)について
- 3 一般廃棄物とごみ処理行政について



飯岡支所敷地東側の飯岡地域統合保育所建設予定地

Q 平成24年4月に京都府亀岡市で発生した児童の列に車が飛び込む事故などを受けて、通学路の交通安全の確保に関する有識者懇談会が開かれました。ここで、子どもの命を守るための道路交通環境の整備等について示されました。

A 平成23年度は市税全体で収入未済額が13億5,600万円でした。滞納対策ですが、預貯金・生命保険・給与等について財産調査を積極的に行い、実際にこれ以上財産がない方には執行停止等の法的措置をしています。

A 通学路の安全点検を平成24年8月に、各小学校より抽出された130か所の緊急合同点検を実施しました。今後は、教育委員会、警察、道路管理者で、必要箇所の具体的な対策の検討、実施に向けて、調整を図っていききたいと思えます。

A また、今年度は全庁挙げての臨戸徴収や電話催告を行い、さらに、行政改革推進課に設置した徴収対策室と連携して徴収対策に当たっています。

道路

通学路の安全対策は

(大塚祐司議員)

クリート造りの2階建て、建築面積は689・16平方メートル、延床面積は984・65平方メートルで計画しています。また、園庭の面積は、1,520平方メートルで、屋上に約346平方メートルの避難スペースを設け、300人の避難が可能となります。現在の飯岡中央保育所及び三川保育所の入所児童から推計し、定員は100名を予定しています。

市税等

どのような徴収対策をしているのか

(高橋利彦議員)

Q 税金は住民の公共サービスののために使われます。税金の徴収率が悪いために税額が上がることによる納税への不公平感が起きないためにどのよ

うな徴収をしているのか。また、今後の徴収の考え方についてお尋ねします。

中央病院

医師不足等の要因は

(高橋利彦議員)

Q 医師不足・退職の要因について、6月議会では医師マンシヨンの老朽化、子ども

の教育の問題と答弁がありました。中央病院検討委員会の中では、3月11日以来、研修医がやめていく要因が災害であると全く一貫性がありません。何が原因なのか伺います。

旧食彩の宿 いいおか荘

存続への具体的な考えは

(高橋利彦議員)

Q 解体も考えていた食彩の宿いいおか荘を今後どの

A 大きく3つぐらいに分けられると考えています。1つ目は、自らのキャリアプランの一環として定期的に病院を移る方、2つ目は、病院内での勤務条件や収入に関する問題、3つ目は、生活環境に関するものです。

ように存続させるのか、具体的な考えについてお尋ねします。

A 復興計画の説明会または地区懇談会等で地元の強い要望があり、いいおか荘あり方懇談会を設置し、意見を伺ったところです。

答申では、低迷する観光産業の復活となる観光拠点施設としての利用、屋上等を活用しての緊急避難場所としての利用、また1階部分は震災を後世に伝える防災拠点施設としての活用、2階・3階は宿泊業としての再開を望むと提言されました。市としてはこの答申を尊重し、復興交付金制度の支援策を積極的に活用し、宿泊業に関しては民間においての活用を進め、再度、企画提案型等の募集を考えています。

市営プールの再開を

(伊藤保議員)

Q 旧いいおか荘に隣接する市営プールは、夏は子どもたちや家族連れで連日大変な賑わいでした。災害を受けたままになっている市営プールの継続は考えているのか伺います。



旧食彩の宿いいおか荘

A 震災による被害で、水槽部分に亀裂が発生し、プールサイドは地盤沈下しています。また、機械設備はる過循環装置、給排設備も津波により機能不全となっており、プールの再開は考えていません。

産業まつり

産業まつりの反省点は

Q いきいき旭・産業まつりは昨年までのスポーツの森公園から文化の杜公園になり、天候に恵まれ、素晴らしい結果でした。しかし、会場設定のゾーニングやレイアウトについて苦情が多く、来年はどのように計画するのか。

A 今回のレイアウトは、公園西側の多目的広場を使い、ステージ位置は一番西側に設置しました。来場者は、公園東側の県道方面からの入場となり、ステージまでが遠く感じたとの意見もありました。また、会場が東西に長いことから、場内放送が届かないなどの問題も

ありました。来年度のレイアウト等については、今回の反省を踏まえて、来場者の皆様方に、より喜んでいただけるように努力していきたいと思えます。

観光

指定管理料はどうなるのか

Q 長熊釣堀センターの指定管理者制度で、管理料についてお尋ねします。

A 指定管理料は、施設の使用料を指定管理者の収入



長熊釣堀センター

とする利用料金制を採用しました。従って、使用料収入から管理運営費を差し引き、余剰金が出た場合は、その85%を市に納入していただきます。また、管理運営費の参考基準価格の上限を1,500万円とし、使用料収入から管理運営費を差し引き、赤字となった場合でも市からの補てんは行わない内容で募集を行っています。

農業

飼料用米の契約の改善を

Q 飼料用米の契約で、本年度キャンセルがありました。その理由は本年度産の米価が上昇したためだと聞いています。来年度以降の契約において、米価が上がった場合はキャンセルし、通常の場合は契約どおりとなると、制度そのものがおかしくなると思うが、対策を考えているのか。

A 国との協議で、来年度の契約書の内容を変える予定です。

現在は耕種農家と飼料用米利用者協議会との二者契約になっています。来年度は、これに受け手の畜産農家を加えた三者契約に変えていく方針で検討しています。これにより、出し手、受け手の信頼をさらに深くしようと考えています。

排水

蛇園南地区の排水対策は

Q 現在、三川海岸からの整備が進んでいる排水路が平成27年度に完成し、その後、蛇園南地区の排水路を整備していくと思うが、対象面積と事業費について伺います。また、事業費に合併特例債が充当できるのか伺います。

A 流域面積は40ヘクタールで、事業費はまだ詳細設計を行っていないので分かりません。

蛇園南地区流末排水整備事業は合併特例債を使っており、その延長として、県と協議し、認められれば、市としては大変有利なので、認めていただけるように協議していきたいと思っています。



三川海岸から整備が進む排水路

まちづくり

旭駅のエレベーター設置の進捗状況は

(伊藤房代議員)

Q 旭駅を利用して、全国から旭中央病院で治療を受けるために患者が通っていると聞いています。旭駅のエレベーター設置はどうなっているのか。

A JR東日本により基本設計業務が完了し、これから詳細設計に入ります。平成25年度に本体工事に取りかかり、平成26年度中に供用を開始する予定と聞いています。

常任委員会の審査

建設経済常任委員会



佐倉市では場整備事業を視察する建設経済常任委員会

12月11日(火)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第1号平成24年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「繰越明許費につ

いて、なぜ年度内に実施できないような予算を組んだのか。」との質疑があり、「街路整備事業などの大きな事業は、国の補助金を活用し、事業を実施する。事業認可は5年であり、複数年にまたがる事業期間の中で、年次計画をたてて事業を執行していくので、標準工期が取れない等、年度内に工事が終わらない場合も出てくるため、繰越明許するものである。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、佐倉市角来地区のほ場整備事業などを視察しました。

文教福祉常任委員会

12月12日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された3議案の審査を行いました。

議案第1号平成24年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「飯岡診療所で、休日及び年末年始の救急診療が始まるということだが、市民への啓発はどのように行うのか。」との質疑があり、「12月25日の朝刊に新聞折込のチラシを入れる予定であり、1月15日号の広報とホームページへの掲載を予定している。」との答弁がありました。

その他の議案についても質疑を尽くし、審査の結果、3議案とも全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて陳情第4号生活保護基準引き下げはしないことなどを国に意見書提出を求める陳情についての審査では、「不景気で生活困窮者が増加していることは理解しているが、高齢加算の廃止については、裁判所において違憲ではないとの判決が出ており、また、年金や最低賃金との比較の問題もあり、やむを得ないのではないか。国も予算がない中、当面は景気が好転してから判断すべきと思われるので、本件については賛成できない。」との意見が出され、全員賛成で、不採択と決しました。

総務常任委員会

12月13日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案の審査を行いました。

議案第4号旭市私債権等管理条例の制定についての審査では、「私債権等の督促、強制執行、保全及び取立てに関して、その措置を取るための期限を条例で定めるべきではないか。」との質疑では、「公債権に関する条例や規則との関係もあり、また、先進市の例も参考にし、期限については規則で運用したいと考えている。」との答弁がありました。

その他の議案についても質疑を尽くし、審査の結果、議案第4号は賛成多数で、そのほかの議案については全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、千葉市の房の駅などを視察しました。



千葉市の房の駅を視察する総務常任委員会

行政視察報告

建設経済常任委員会

平成24年11月7日から9日の3日間、秋田県、宮城県などを視察しました。

一日目は秋田県の大潟村カントリーエレベーター公社を視察しました。

大潟村は、かつて日本の第2の面積を誇る湖の八郎潟で、東西が約12km、南北27km、周囲が82km、総面積が2万2,024haで、日本海に通じる汽水湖で、昔は魚介類の宝庫でした。水深は最深部でも5mで、非常に干拓しやすい条件を持っていました。湖底は平坦で大部分が肥よくな粘土質で覆われ、食糧不足が大きな問題であったため、農林省は昭和32年に八郎潟の干拓工事を開始しました。総工費852億円で世紀の大事業でした。

入植者は秋田県を中心に全国から集まり、日本のモデルとなる農業経営を目指したもので、現在、517戸が入植し、一戸当たり平均15haを耕作しています。主に米作が中心ですが、近年は畑作にも力を入れています。

カントリーエレベーター公社の大規模農産物乾燥調整貯蔵施設は東洋一の規模です。米の販売については、消費

者から注文を受け、舂すり・精米を行い、新鮮な米を全国に供給しています。今後は、米の消費を拡大するため、ケーキ・パン・麺類や、餃子の皮にも力を入れていました。また、TPPの対応については、原則として反対とのことでした。

二日目は岩手県の文化遺産を活用した観光行政について、毛越寺等の周辺の文化遺産を視察しました。小雨が降っていましたが、世界遺産に指定されたことから、大勢の観光客で賑わっていました。

最終日は、総務常任委員会と合同で宮城県大崎市の「あ・ら伊達な道の駅」と石巻市の道の駅「上品の郷」を視察しました。

両施設とも駅長が経営手腕に優れた方で、大勢のお客さんで賑わいを見せていました。旭市でも道の駅建設が計画されていますが、経営手腕のある駅長を選出し、賑わいのある道の駅にしたいのだと思います。

文教福祉常任委員会

三重県鈴鹿市、奈良県桜井市などに

平成24年11月7日から9日まで行政視察しました。

一日目は、三重県鈴鹿市の鈴鹿市不燃物リサイクルセンターを視察しました。このリサイクルセンターはPFI方式で、契約金額は128億円、契約期間は平成20年度から平成43年度までの23年間で、運営管理は鈴鹿エコセンター株式会社が行っています。

この施設は、不燃ごみ、粗大ごみ、プラスチック、包装類の処理工場として、最終処分場を同一敷地内に建設した施設です。背景には、この処分場が平成26年度に満杯になるということで、周辺地域の住民への対策として、地元代表者による協議会を年5、6回定期的に開催するなど、施設の周辺の環境整備の実施や市職員による不法投棄のパトロール等を実施しています。

二日目の奈良県桜井市は、文化財が数多くあり、特に国宝の長谷寺、重要文化財の日本最古の神社といわれる大神神社があり、文化財の保護活動を視察しました。桜井市にある遺跡・古墳は54か所で、県・国の補助金もあります。保存活動に対しては多額の予算が必要とのことでしたが、貴重な文化財



桜井市を視察する文教福祉常任委員会



大潟村カントリーエレベーター公社を視察する建設経済常任委員会

を後世に残して行くことが市の使命と
の話でした。

最終日には、京都市内の文化財や貴
重な財産を視察しました。

総務常任委員会

平成24年11月7日から9日の3日間、
岩手県陸前高田市、宮城県南三陸町な
どを視察しました。

一日目は岩手県陸前高田市の東日本
大震災の被害状況及び復興状況につ
いて視察を行いました。陸前高田市は、
人口が2万4,246人、震災で1,7
35人が亡くなっています。被災住宅
が3,368戸、そのうち3,159戸
が全壊です。市の一般会計の予算規模
は100億円程度でしたが、今年度は
10倍の1,000億円にも上り、職員
不足から事業の遅れが見られると言わ
れています。長期間にわたり、事業を
執行していく中で、いかに職員を確保
していくか、また事業を素早く発注す
るかが今後の課題とされます。

また、奇跡の一本松保存の話や聞き、
総務常任委員は保存のための寄付を行
いました。

二日目は南三陸町の被害状況等を視
察しました。やはり、この町も甚大な
被害を受け、職員36名が亡くなりまし
た。なお、被災した公共施設は庁舎、
防災庁舎、病院、公民館、小学校など、

低地部分の公共施設はすべて壊され、
壊滅的な状況になっていました。最後
まで避難を呼びかけていた女子職員が
亡くなった現場には、多くの千羽鶴が
手向けられており、被害の状況等をま
のあたりにしました。心から哀悼の意
を表したいと思います。

最終日には、建設経済常任委員会と
合同で大崎市の「あ・ら伊達な道の
駅」と石巻市の道の駅「上品の郷」を
視察しました。

大崎市の「あ・ら伊達な道の駅」は、
学校の廃校の跡地を利用し、ネーミン
グの良さなどから年間に345万人が
来場しています。

石巻市の道の駅「上品の郷」は、全
国で970以上ある道の駅の中でも、
一番行ってみたいと、リピーターから
No.1に支持されています。この駅長
は合併前、15年間、町長をしていた太
田実前町長で、駅長の心情は「すぐや
る・必ずやる・できるまでやる」と、
非常にガッツのある駅長でした。

両駅長とも非常に経営手腕のある方
で、いかに経営手腕がある駅長を選出
するかが重大であると委員から意見が
ありました。

議会運営委員会

平成24年10月10日から12日まで、議
会改革、議会運営について京都府の京

丹後市、舞鶴市などを行政視察しまし
た。

京丹後市では、平成18年9月28日に
議会改革の検討課題8項目が提案され、
平成19年12月20日に議会基本条例が制
定されました。

条例では、市民が安心して生活でき
る豊かなまちづくりの実現を目的に、
情報公開と市民参加を原則とした議会
運営の基本事項を定めました。

議会では、定例会ごとに議会報告会
を開催し、市民との対話の機会を設け、
意向を把握するとともに市政に関する
情報の提供に努めています。

舞鶴市では、京丹後市と位置的な要
素から、京丹後市を参考に議会改革等
を行っています。

議会基本条例は制定していませんが、
市民に親しまれる、開かれた議会を目
指し、議会内容をわかりやすく市民に
知らせています。

また、ホームページでは、議会日程
等のほかに議長交際費や政務調査費の
使途、議員の議案に対する賛否結果等
も公表しています。

舞鶴市でも、市民と議会の懇談会を
実施していますが、市民の参加が少な
く、今後、いかに多くの市民に参加し
ていただくかが課題となっていました。



京丹後市を視察する議会運営委員会



南三陸町の震災状況を視察する総務常任委員会

議長

のうごき

平成24年9月5日以降の議長のうごき

9月

- 旭市老人クラブ連合会ケラン
ドゴルフ大会
- 特別養護老人ホームやすらぎ
園第31回敬老会
- 平成24年度旭市敬老大会
- ロシア交流コンサート「天才



旭市エンジョイパトロール隊集団防犯パトロール出発式

- 少年少女育成コンサート旭市
公演
- 第7回あさひのまつり
- あさひ学友会第19回定期総会
- 小中学校運動会

10月

- 平成24年第1回総合病院国保
旭中央病院検討委員会
- 東総地区広域市町村圏事務組
合9月議会定例会
- 第4回向太陽杯パークゴルフ
大会
- 旭市民グラウンド・ゴルフ大
会
- 干潟中央保育園運動会
- 第7回旭市民ミュージカル
「銀河鉄道に乗って」
- 第31回あさひこひつじ幼稚園
秋季運動会
- 第74回全国都市問題会議
- うなかみ幼稚園運動会
- 復興フェスタ in 九十九里
- 第3回干潟学区・絆をつくら
うスポーツ大会
- 千葉県北総地区市議会正副議
長会議員研修会
- 海匝地区障害者スポーツ大会
- 第176回千葉県市議会議長
会定例総会
- 平成24年度千葉県遺族会第2
ブロック戦没者遺族大会
- 剖検御協力者追悼式

11月

- おたっしや会
- 平成24年度海匝農業・農村活
性化フォーラム
- (株)千葉県食肉公社畜霊祭
- 第62回千葉県民体育大会卓球
競技開始式
- 平成24年度第23回旭市秋のへ
ら鮎釣り大会表彰式
- ふるさとまつり・ひかた20
12
- 長熊釣堀センター秋のヘラブ
ナ釣大会表彰式
- 平成24年度旭市合同金婚式
- 第61回千葉県PTA研究大会
旭大会
- いきいき旭・産業まつり20
12
- 旭市菊花大会表彰式
- 受賞者を称える会
- 平成24年度旭市商工会優良従
業員表彰式
- 旭中央病院附属看護専門学校
戴帽式
- 平成24年度千葉県北総東部四
市議会正副議長会定例会・視
察研修会
- 平成24年度旭市青少年意見発
表大会
- 旭市生涯学習フェスティバル文
化講演会
- 旭市復興支援第3回旭市民体

議会を傍聴しませんか

平成25年第1回定例会が2月26日(火)から行われています。議会開会中は、議会を傍聴することができます。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様様を放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継をしています。さらに、議会録画中継(本会議)も日程終了後の概ね7日程度で視聴することができますので、ぜひご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304
FAX 62・5384

育祭

- 旭市エンジョイパトロール隊
集団防犯パトロール出発式
- 海上産業まつり「ふるさと・
ふれあいフェスティバル」
- 第8回旭市社会福祉大会
- 第58回あさひ舞踊会

編集後記

編集委員になって通算で4年目を迎えました。

編集は、一般質問を中心に
行い、議場での議員と市側の
質疑応答を適正に取り上げる
ことが肝要となりますので、
文章を何回も読み返し、編集
に当たります。おのずと質問
議員の主張と答弁する市の考
えを把握することができ、議
員としての勉強にもなります。
さて、お気付きのことと思
いますが、今月号から一般質
問の要旨の次に議員の氏名を
入れ、読者の皆様は、どの議
員の質問か、一目瞭然で分か
るようにしました。

このように編集委員会では
試行錯誤を繰り返して、より良
い紙面にと考えております。
今回の変更も含め、皆様のご
意見、ご感想をお寄せいただ
ければ幸いです。

(委員長・島田 和雄)

- 旭市議会だより編集委員会
- 委員長 島田 和雄
 - 副委員長 宮澤 芳雄
 - 委員 柴田 徹也
 - 委員 飯嶋 正利